

フューチャーシステムワーキンググループ参画スキーム

ver1.0
2010/7/1

「共同事業」と「資本参加」は原則ワーキンググループから派生したプロジェクト内の企業を対象とし、OESFの活動とは別個に行われます。

	共同活動	共同研究開発	アドバイザー参加	協賛	共同事業	資本参加
性質	WGとPJの活動(啓蒙活動、共通化規格・仕様検討などの一般活動)に協力する。	PJにおける共同研究開発を担う。	全体的な活動を成功に導くため、さまざまな面でのアドバイスを行う。(特にWGとPJでの活動に対するアドバイス)	WGやPJの活動のコンセプトへのご賛同、ご協賛をいただく。(特にアドバイザー参加と異なり高度なアドバイスなどは必要としません)	WGとPJによって得られた製品による収益を目的として製品の事業化を行う。	WGとPJによって得られた要素技術や製品による事業化を行う企業への投資を行う。
対象	WG, PJ参加企業	PJ参加企業	大学・研究機関・地方公共団体・大手販路候補団体	WG, PJの活動内容とそこから得られる要素技術、製品、事業に興味のある団体すべて	民間企業、地方公共団体、第3セクター等	VC, エンジェル、民間企業
人員	WG, PJの一般活動に担当者1名様以上のご参加を戴きます。	PJへの担当者1名様以上のご参加と、共同研究開発においては実開発にPJ内で決定した形のご参加を戴きます。	アドバイザーとしてのご講演やご参加を任意でお願いする場合があります。	基本発生せず。ただしWGなどへの一時参加を任意でお願いする場合があります。	WG, PJへの担当者1名様にご参加戴きます。	特に必要としません。(WG事務局からのご報告をさせていただきます)
別途金額	基本的に発生しません。(WGに入るにはOESF会員様である必要があります)	共同研究開発におけるコストが発生します。	全く発生せず、アドバイザー契約、講演では逆に金額をお支払いする可能性があります。	基本発生せず、ただし展示会などでスポンサーシップなどをご提案する場合があります。	事業化のための製造・販売にかかわるコストを負担戴きます。	資本参加による投資をお願い致します。
NDA	特に必要ありません。	知財の発生する可能性が高いため、基本的に各個別技術ごとに参加企業間、団体間でのNDA対象とさせていただきます。	一時的なご講演などでは発生しませんが、常時の技術顧問契約などの発生の場合にはNDAが基本となります。	特に必要ありません。	知財のかかわる部分や営業情報にかかわる部分があり、基本的に関連企業間でのNDA対象となります。	技術、事業、収益含めて機密性が高い情報が必要とされますので、NDA対象となります。
ロゴ	WGやプロジェクトにご参加戴いている旨と共に使用させていただきます。	PJにご参加戴いている旨と共に使用させていただきます。(秘匿性が高いと判断された場合、個々の団体様判断で完全一般公開はしない形も可能です。)	アドバイザー参加を戴いている旨と共にご許可のものと、使用させていただきます。(使用をしない事も可能です)	協賛企業としてのロゴを使用させていただきます。	WGやプロジェクトにご参加戴いている旨と共に使用させていただきます。	資本への参加戴いている旨と共に使用させていただきます。
得られるもの	WG, PJへの参加による仕様面検討・調整への参加、活動記録や一般公開された情報の入手。	PJへの参加による仕様面検討・調整への参加、NDAに基づく詳細技術情報や成果物、知財、知財による収益可能性。	WGとPJの概略状況の把握。事業化などで優先的なご提案を差上げます。	WGの一般活動記録や一般公開された情報の入手。事業化などで優先的なご提案を差上げます。	事業化による収益。	事業参加企業の収益と上場益。

WG: ワーキンググループ
PJ: プロジェクト